

筆都が育てる

筆都を育てる

熊野高等学校

地域のあたたかさを
感じました。

9月23日、熊野町内は筆まつりに染まりました。

熊野高校の生徒は、筆まつりのメイン会場において「競書大会・大書」、榊山神社境内において「筆おどり」、そして筆の里工房をはじめ、各場所を「外国人日本文化体験プログラム」に参加の方々と交流をしました。生徒の感想をまとめてみますと、

【競書大会】

熊野町内の小・中学生とふれあい、競書のお手伝いをしました。小・中学生の熱心に書いていく姿が印象に残っています。



【大書】

筆まつり実行委員会・青年部の方々に丁寧な準備をしていただき、多くの見学者に見守られながら最高の「心の表現」ができました。ありがとうございました。

【筆おどり】 婦人会の方々にわざわざ熊野高校まで指導

に来ていただき本番では緊張の連続でしたが、練習の成果が発揮できてよかったです。

【外国人日本文化体験プログラム】

中国・スペイン・インド・ロシア・エジプトの方々と出会い、言葉が通じなくて苦労しましたが、動作でなんとか交流をしました。

あわただしく時間が過ぎていきましたが、地域の伝統文化や人のあたたかさにふれることができて、とても有意義な一日になりました。ありがとうございました。

町がきれいになりました

熊野町公衆衛生推進協議会の主催する町内一斉清掃が9月7日(日)町内全域で行われました。



▲ 河川清掃

昨年より清掃場所を各自治会ごとの地域性と独自性にまかせて河川に限定しない「地区掃除」としており、これまで行われていた河川の草刈りや、地域内の公園・緑地等の公共用地も清掃しました。熊野中学校・熊野東中学校の生徒も保護者と一緒に参加し、ご近所の皆さんとの世代間の交流の場にもなり、清掃により町をきれいにするだけでなく、地域のコミュニティの場ともなっています。



▲ 中学生も一緒に作業

また、昨年に引き続き呉地自治会では、心ない人によって呉地ダム周辺に不法投棄されたごみを拾い上げました。

清掃作業によって集められたごみは、清掃車等トラック12台で、道路側溝などの土砂は軽ダンプ7台で集められました。

皆様の協力

ありがとうございます。

Ⅱ 集められたごみ・草Ⅱ

燃やせるごみ	5千848 kg
金属などの資源	180 kg
大型ごみ	2千955 kg
集められた土砂	40台

軽ダンプ延べ
(生活環境課)

TEL 820-5606